

感謝の気持ちの大切さ

かみのがた
上野方小学校

六年

いしざき
石崎

やみ
優海

「神様、ありがとうございます。」

私は今までこのように感じたことがありませんでした。しかし、伊勢神宮に行くと、私は感謝の気持ちの大切さに気付くことができました。

今年の三月、私は初めて伊勢神宮に行きました。地元の神社に初詣に行くと、有名な神社に行くということでもワクワクした気持ちと緊張した気持ちがありました。

伊勢神宮には、内宮と外宮があります。お参りの作法は外宮にお参りしてから内宮へと行くそうです。

まず、外宮へお参りに行きました。外宮には豊受大御神様が祀られています。この豊受大御神様は衣食住や産業の守り神です。

お参りに行くときに鳥居をくぐりました。すると、嫌なことを忘れ、清々しい気持ちに

なりました。参道を歩き外宮の正宮、豊受大神宮にお参りしました。二礼・二拍手・一礼をしました。いつもなら、私は「バドミニント」が上手になりますように。とお願ひします。でも、このときは、いつも食について見守ってくださりありがとうございます。と感謝の気持ちをつぶやいていました。

次に少し移動して内宮にお参りしました。内宮には皇室の御先祖の天照大御神様が祀られています。私の家の神棚にも天照大御神様のお札が飾られています。

参道を歩いてみると、大きな樹木がありました。すぐく大きかったのが、長い年月を感じました。そして内宮の正宮、皇大神宮にお参りました。そのときにつぶやいていたのは、いつも家族を見守ってくださりありがとうございました。やはり私が思ったのは感謝の気持ちでした。

私が伊勢神宮で学んだこと。それは、感謝の気持ちです。私は、家族と楽しく過

ごしたり、友達と学校生活を送ったりしています。しかし、世界には貧しい子供たちもたくさんいます。だからこそ私は、一つ一つのことに感謝の気持ちを行動に表しながら過ごしたいと強く思いました。

感謝というとは難しくはなく、物を大切に
する^レ、好き嫌いをしない^レなどがあります。
私の習っているバドミントンの場合では、コートに入るときや出るときにコートに対して礼をする^レを実践しています。このように感謝の気持ちをいろいろな形や場所で表していることを改めて実感しました。

私は伊勢神宮に行ったことで、これからの人生で大切なことを学ぶことができました。これからも感謝の気持ちを忘れずに、一日一日を過ごしていきたいです。